

情報・通信

Oracle データ連携製品を来月

シانس・アール

既存DB データ連携製品を来月 低価格でリアルタイム参照

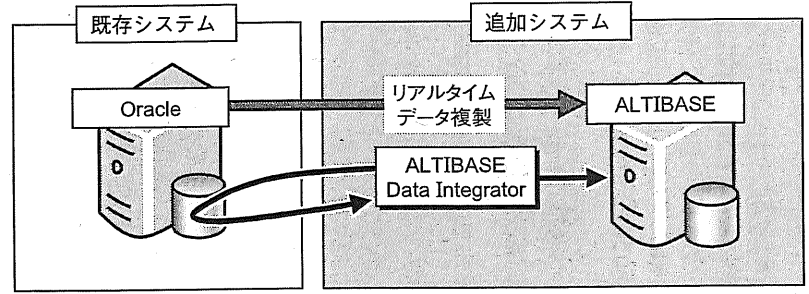
メモリーデータベース(DB)とディスクDBを統合し、低価格で超高速処理ができるハイブリッドDBソフトを販売するシانس・アール(東京都中央区、平岡秀一社長)は、12月1日からOracle DBとのデータ連携製品を発売する。既に構築済みのOracle DBシステムを変更せずに外付けでシステム化ができ、低価格でリアルタイムのデータ参照ができるようになる。

新製品「ALTI-BAS Data Integrator(アルティベール・データインテグレーター)」は、Oracle DBとハイブリッド型DBシステム「アルティベール」のデータを自動的に連携できるようにする。

変更データのみ抽出 ログ基盤CDC(チェンジ・データ・キャプチャ)と呼ぶ、実行中のDBから変更データを取得する技術により、「既存のDBシステムに負荷をかけずに変更

データだけを抽出することができ」と(平岡社長)という。既存DBに障害が発生しても取得した変更データが転送され、障害中に受信した変更データは、既存DBの回復後に転送先DBに適用されるため、一貫性のあるデータ複製ができる。ADIの価格は、プロセス当たり98万円となる。

ADIを使用したシステム構築例(OracleからALTIBASEへのデータミラーリング) 既存システムに手を入れることなく、データをミラーリングし追加システムの構築が可能



(出所: シانس・アール)

には多大なコストがかかる「データ連携ができる」と話す。が、この製品により低価格で簡単にリアルタイムデータ参照ができる。国アルティベール社が開発したもので、日本ではシانس・アールが総販売代理店となっている。ソフトバンク・テクノロジーやロジック・ソリューション、テクノロジック・システム、富士通ソリューション、エンストラボラトリがパートナーとして販売する。導入実績も豊富で、世界で一方サパー、日本

でも400サーバー以上が使われている。製品発売に合わせ取扱キャンペーンを始める。ADIを12月30日までの期間で

ライセンス価格を無償提供するほか、「ALTI-BAS SEIチャレンジキャンペーン」として、Oracleユーザーを対象にアルティベールのライセンスを3月31日までの期間限定で最大50%値引く。